

The International Chemical Congress of Pacific Basin

Societies (Pacifichem) 2025での研究発表



目で見ると
海外論文発表

向井虹渡*

Presentation at The International Chemical Congress of
Pacific Basin Societies (Pacifichem) 2025

Key Words: Main Group Element, Gallium, Visible-Light, Insertion, Reductive Elimination

<参加会議名>

The International Chemical Congress of Pacific
Basin Societies 2025

<開催場所>

アメリカ合衆国ハワイ州ホノルル

<渡航期間>

2025年12月14日～12月22日

<発表タイトル>

Photoreactivity of Gallium Complexes Bearing a
Phenalenyl-Based Ligand.

<感想>

私はアメリカ合衆国ハワイ州ホノルルで開催された国際学会 The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (Pacifichem) 2025 に参加し、口頭発表を行いました。本学会は、米国、日本、中国、韓国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドの太平洋地域7か国の化学会が共同で主催する、世界最大級の国際化学会議です。約40年の歴史を有する伝統ある学会であり、世界中から多数の研究者が集います。

学会では、「フェナレニル型配位子を有するガリウム錯体の光反応性」というテーマで発表しました。国際学会での口頭発表は初めてでしたが、十分な準備を重ねて臨み、多くの質問や意見をいただきながら有意義な議論を交わすことができました。世界的

に著名な研究者や若手研究者による活発な討論を間近に見て、大きな刺激を受けました。私の研究に関心を示してくださる方も多く、発表後には「論文を読んだけれど、とても面白かった」「雑誌会で紹介されていたよ」と声をかけていただきました。自分の研究が他の研究者にも注目してもらえていることを実感してとても嬉しく感じ、研究への意欲が一層高まりました。また、最先端の成果や多様な考え方に触れたことで、自身の研究の方向性について新たな視点を得ることができました。

最後になりましたが、本学会発表にあたり多大なるご支援を賜りました生産技術振興協会に、心より御礼申し上げます。



口頭発表の様子



* Nijito MUKAI

1999年11月生まれ
大阪大学大学院・工学研究科・応用化学
専攻 卒業(2024年)
現在、大阪大学大学院 工学研究科 応用
化学専攻 鷹巣研究室、博士後期課程2年
TEL: 06-6879-7414
E-mail: n_mukai@chem.eng.osaka-u.ac.jp



質問をいただいたGeorgii I. Nikonov先生(中央)、
Ingo Krossing先生(右)との写真



世界的に著名なMatthias Driess先生(左)、
Josh Abbenseth先生(右)との写真

